

経営比較分析表（令和5年度決算）

青森県 田舎館村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	67.37	8.92	86.35	4,051

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,352	22.35	328.95
處理区域内人口(人)	處理区域面積(km ²)	處理区域内人口密度(人/km ²)
652	0.29	2,248.28

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 令和5年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は100%を超えていますが、一般会計からの繰入金など使用料收入以外の収入による要因が大きいため、料金収入確保対策を行ってい有必要があります。

令和2年度、令和4年度及び令和5年度は料金回収率が100%を下回る結果となっていますが、景気対策事業として下水道使用料等減免事業を実施したためであり、減免した料金は国庫補助金を財源とした繰出金により補てんされていますので、経営が悪化しているわけではありません。

処理区域内の整備が終了したことから、近年は建設改良に係る企業債の新規借り入れが無く、企業債残高対事業規模比率は類似団体及び全国平均と比較しても低い水準となっています。ただし、これは同時に耐用年数を経過した機械設備の更新を延伸している結果とも取られるため、計画的な設備更新または継続的な維持管理による状態監視が必要です。

水洗化率については、類似団体及び全国平均と比較すると高い水準を維持していますが、今後も未接続世帯へ接続を促すなど水洗化率向上のための取り組みに力を入れ、遊休状態の解消を図る必要があります。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は類似団体及び全国平均の2倍以上の値となっています。現在、耐用年数を経過した管渠はないものの、処理施設の機械設備には耐用年数を経過したものが多く存在している状況です。令和2年度に策定した最適整備構想により計画的な改修更新が必要です。

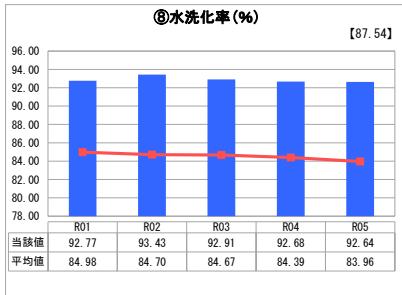
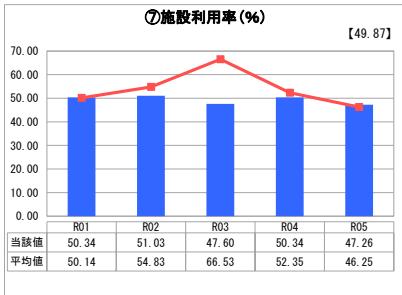
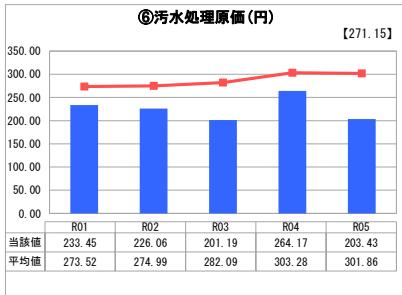
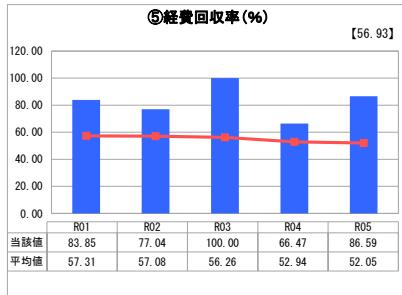
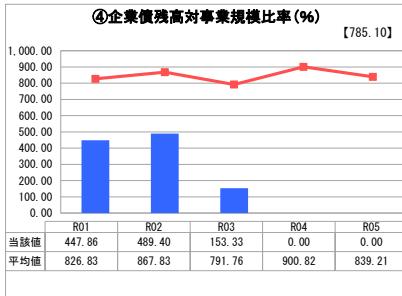
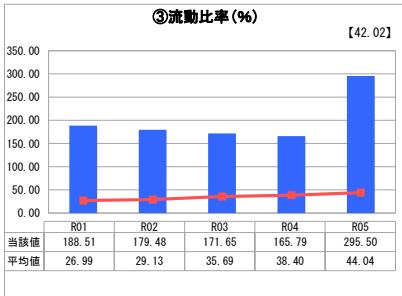
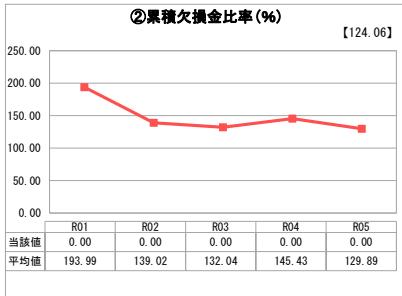
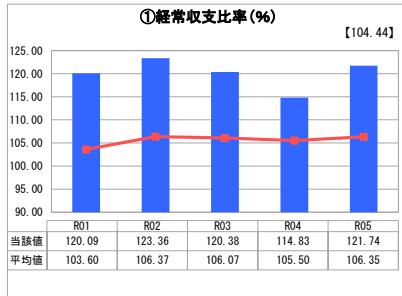
全体総括

計画区域内の整備は終了しています。今後は異なる経営改善に向けて、水洗化の向上を図っていく必要があります。また、必要に応じて使用料水準の見直しや広域化・共同化による維持管理費等の見直しを検討していきます。

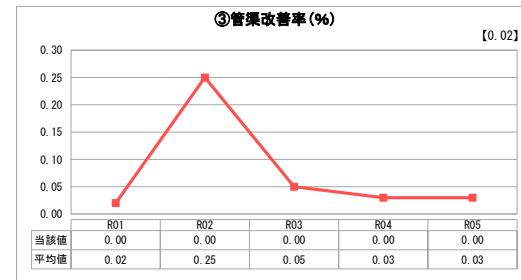
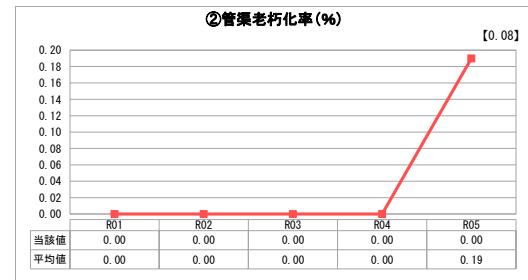
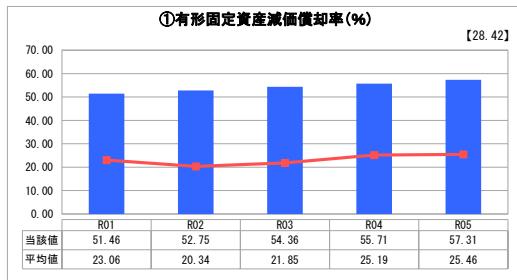
施設の老朽化に関しては、処理施設の機械設備など必要に応じて更新している状況ですが、今後の人口減少も考慮し、下水道事業の広域化・共同化の検討による公共下水道への編入も視野に入れながら検討していく必要があります。

また、経営戦略に基づき経営の健全化を図るための取り組みを進めていきます。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。